| | |
|---|---|
| １．発見日時 | 令和６年(2024 年)８月２日（金）11:30 |
| ２．発生海域名 | 津軽海峡大鼻岬沖 |
| ３．発生状況（規模、形状等） | 発生海域（図１）において、パッチ状に点在（図２；規模不明） |
| ４．優占種 | *Noctiluca scintillans*（ヤコウチュウ；図３） |
| ５．その他 | 本種は細胞内に大量のアンモニアを蓄積するため、アンモニア臭が強まる恐れがある。また、アンモニアに弱いイカなどの軟体動物の蓄養には本種による赤潮発生範囲の海水を用いるべきではないとされている。活イカをタンクに積載して航行する場合は、本種の密集した水が取水されないよう注意する必要がある。 |
| ６．参考図 | |

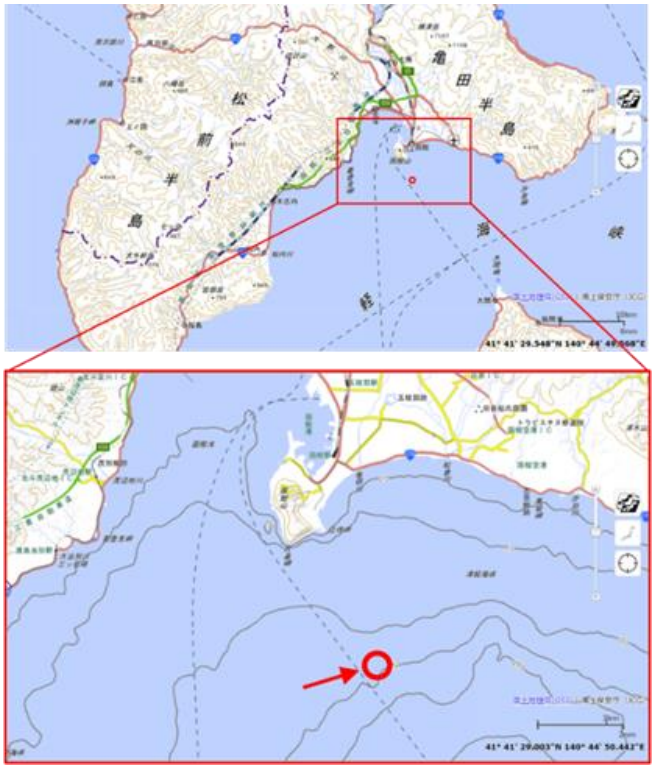

図１　赤潮発生場所の位置（地図中赤丸）

地理院地図（国土地理院）https://maps.gsi.go.jp/を基に道総研作成

図２　赤潮発生場所状況

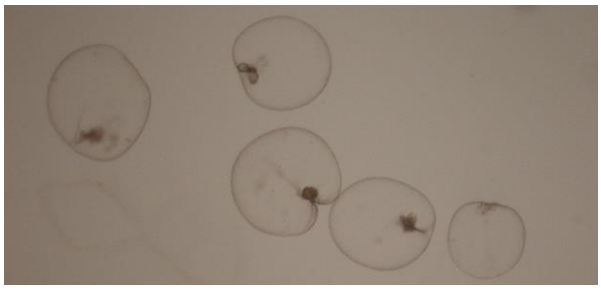

図３　原因種（*Noctiluca scintillans*）